

## 第 19 期第 5・6 回合同 地域農林経済学会常任理事会議事録

日時：2014 年 2 月 23 日(日) 14:00－17:00

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻第 1 会議室

議長：小田滋晃

出席者：(全体) 佐藤豊信、古塚秀夫、増田佳昭、桂明宏、内山智裕、藤本高志、矢倉研二郎、池上甲一、浦出俊和、北野慎一、増田清敬、竹歳一紀、北川太一、金子治平

1) 佐藤会長より挨拶がなされた。

### 【議題および報告】

(1) 理事会・総会の議事録署名欄の確認 (庶務)

小田庶務担当理事より、理事会・総会の議事録(署名済)の提示がなされ、了承された。

(2) 2013 年度岡山大会の結果報告について

・大会受付者数 (庶務)

浦出席務担当理事より、前年岡山大会の大会受付者数等の報告がなされた。

・大会講演、大会セッションおよび個別報告について (企画)

池上企画担当理事より、大会講演、大会セッションおよび個別報告への参加人数等について報告がなされた。

・大会決算報告について (会計)

仙田会計担当理事より、大会決算報告がなされた。

(3) 2014 年度年間スケジュールの確認について (庶務)

浦出席務担当理事より、2014 年度のスケジュール案について説明がなされた。

(4) 除籍者 (2013 年度末) 取り扱いの最終確認について (組織広報)

桂組織広報担当理事より、除籍者の取り扱いについて報告がなされた。

(5) 会員の異動等について (組織広報)

桂組織広報担当理事より、新規入会者について 5 名あった旨の報告がなされた。

(6) 会員制度の変更と諸規定の整備について (組織広報、庶務)

浦出席務担当理事より、シニア会員制度の変更について提案がなされ、その移行方法について説明がなされ議論を行った。主な結果は以下の通りである。

・適用年齢：65 才以上

・移行方法：自動的にシニア会員に移行

・年会費：原則減額会員とし、申告があった場合のみ一括払い前払い可能

関連して、既に名誉会員となっている会員の扱いについて議論を行った。結果、現名誉会員については、既に 10 万円を受領しているため自動的に正会員に移行することとし、理事会および総会にて報告することとした。なお、一括前払いの場合の会費については一時的に基金として処理し、経費発生の都度費用化することとした。

(7) 学会誌印刷業務の入札について (増田副会長)

増田副会長より、近年の学会の財政事情に鑑み、学会誌印刷業務の入札の見直しの提案がなされ、事前に中西印刷に対して相見積もりを実施して良いか否かの確認を行い、先方に了解を得た旨の報告がなされた。併せて、金子編集担当理事より、電子ジャーナル化に向けた検討を行ってほしい旨の提案がなされ、その内容の説明がなされた。さらに、仙田会計担当理事より印刷業者の変更にかかわる移行のスケジュール案等の説明がなされた。議論を踏まえて、次回常任理事会までに、各案について相見積もりを取得することとした。

(8) 2013 年度決算等について (会計)

仙田会計担当理事より、2013 年度決算報告がなされた。

(9) 学会誌編集状況について (編集)

金子編集担当理事より、学会誌の編集状況について報告がなされた。

(10) 学会誌 3 月号の発行について (編集)

金子編集担当理事より、本年 3 月号について、掲載可能な原稿が少ないため、個別報告論文を掲載し、それに併せて投稿要領を改正したい旨の提案がなされた。議論の結果、了承された。

(11) 学会誌における英文校正料の取扱いについて (編集)

学会事務局が国税局の指摘を受けた神戸大学から英文校正料の源泉徴収を行う旨の通達を受けた問題について、交渉(増田副会長)の結果、同大学では英文校閲料の源泉徴収を行わない決定がなされた旨の報告がなされた。

金子編集担当理事より、機関リポジトリへの対応について現状説明がなされ、意見収集がなされた。

(12) 消費税増税に伴う『農林業問題研究』の定価の変更について (庶務)

北野庶務担当理事より、消費税増税により『農林業問題研究』の定価をどのように扱うかについて、昭和堂から問い合わせがあり、三役・庶務・会計担当の協議により、価格を据え置く旨の決定を行った旨の報告がなされた。

(13) 2014 年度大会について (企画)

池上企画担当理事より、2013 年度大会の反省・改善と課題、及び同大会中に実施したアンケート結果について報告がなされた。さらに、2014 年度京都府大大会についてプログラム・大会スケジュール案等について報告がなされた。桂組理事(開催校)より、本年度大会の日程について 4 月の常任理事会にて報告する旨の説明がなされた。

(14) 日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について (古塚副会長)

古塚副会長より、日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について、島根大学の赤沢氏を推薦したい旨の提案がなされ、議論の結果了承された。

(15) 次期の理事選挙のため選挙管理委員会の発足について (庶務)

小田庶務担当理事より、次期理事選挙のための選挙管理委員会を発足する旨の報告がなされた。

(16) その他

古塚副会長より、学会賞選考委員会の運用について古塚副会長及び金子編集委員長に一任してほしい旨の依頼がなされ、了承された。

最後に、古塚副会長より挨拶があり閉会した。

以上